



2019年度（2020年3月期）
第1四半期決算

参考資料

2019年7月31日
エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部： TEL 03-3817-5120

IR部： TEL 03-3817-3016

<https://www.eisai.co.jp/>

【将来予想に関する事項と事業等のリスク】

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりです。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものです。

製品の安全性および品質に関するリスク、副作用発現のリスク、訴訟に関するリスク、法規制に関するリスク、知的財産に関するリスク、新薬開発の不確実性に関するリスク、医療費抑制策に関するリスク、ジェネリック医薬品に関するリスク、海外展開におけるリスク、他社とのパートナーシップに関するリスク、企業買収や製品買収等に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、財務報告に係る内部統制の整備等に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止のリスク、環境に関するリスク、ならびに災害等に関するリスク

目次

1. 連結損益計算書	1
2. セグメント情報	2
3. 報告セグメント別情報	3
4. 主力品売上収益	7
5. セグメント別売上収益見通し	9
6. 連結包括利益計算書	10
7. 連結キャッシュ・フロー計算書	11
8. 資本的支出及び減価償却費の状況	12
9. 連結財政状態計算書	12
10. 連結四半期業績の推移	14
11. 主要開発品	17

為替レート

		米国 (米ドル/円)	欧州 (ユーロ/円)	英国 (ポンド/円)	中国 (人民元/円)
2018年度 第1四半期	期中平均レート	109.07	130.06	148.55	17.12
	期末日レート	110.54	127.91	144.59	16.66
2018年度 通期	期中平均レート	110.90	128.40	145.67	16.53
	期末日レート	110.99	124.56	144.98	16.47
2019年度 第1四半期	期中平均レート	109.90	123.48	141.16	16.07
	期末日レート	107.79	122.49	136.57	15.69
2019年度	予想レート	110.00	125.00	139.00	16.00

- 当社の連結財務諸表は国際会計基準（IFRS）にて開示しています。
- 当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス(北米)、中国、EMEA(欧州、中東、アフリカ、オセアニア)、アジア・ラテンアメリカ(韓国、台湾、香港、インド、アセアン、中南米等)、一般用医薬品等(日本)の6つの事業セグメントを報告セグメントとしています。
当連結会計年度において、日本医薬品事業から一般用医薬品等事業を分離し、新たな報告セグメントとしています。前期のセグメント情報は当該変更を反映しています。
- 当資料中の数字は、四捨五入で表示しています。

1. 連結損益計算書

	(億円、%)								2019年度	
	2018年度				2019年度				通期予想	売上比
	1Q	売上比	通期	売上比	1Q	売上比	前同比	増減額		
売上収益	1,533	100.0	6,428	100.0	1,540	100.0	100.5	7	6,800	100.0
売上原価	480	31.3	1,845	28.7	429	27.9	89.3	△ 52	1,800	26.5
売上総利益	1,053	68.7	4,583	71.3	1,111	72.1	105.6	59	5,000	73.5
販売費及び一般管理費	506	33.0	2,282	35.5	600	38.9	118.5	94	2,450	36.0
販売費	173	11.3	843	13.1	247	16.0	142.4	74	—	—
人件費	199	13.0	872	13.6	211	13.7	105.9	12	—	—
管理費他	134	8.7	567	8.8	142	9.2	106.4	9	—	—
研究開発費	341	22.3	1,448	22.5	294	19.1	86.2	△ 47	1,545	22.7
その他の収益	1	0.1	26	0.4	48	3.1	5066.0	47	25	0.4
その他の費用	1	0.0	17	0.3	7	0.4	1130.1	6	—	—
営業利益	206	13.4	862	13.4	258	16.8	125.5	52	1,030	15
金融収益	12	0.8	49	0.8	14	0.9	116.2	2	—	—
金融費用	5	0.4	16	0.2	3	0.2	55.3	△ 2	—	—
税引前四半期（当期）利益	213	13.9	895	13.9	270	17.5	126.8	57	1,045	15.4
法人所得税	56	3.6	230	3.6	49	3.2	87.3	△ 7	—	—
四半期（当期）利益	157	10.2	665	10.3	221	14.3	140.8	64	725	11
四半期（当期）利益の帰属										
親会社所有者	123	8.0	634	9.9	217	14.1	176.1	94	720	10.6
非支配持分	34	2.2	31	0.5	4	0.3	12.6	△ 30	—	—

四半期（当期）包括利益	272	17.8	795	12.4	31	2.0	11.3	△ 242
-------------	-----	------	-----	------	----	-----	------	-------

EPS（円）	43.0	221.3	75.6	251.3
DPS（円）	—	150.0	—	160.0
ROE（%）	—	10.4	—	11.2
DOE（%）	—	7.0	—	7.1

・通期予想のその他の収益は、その他の費用を控除して表示しています。

・EPS：基本的1株当たり当期利益、DPS：1株当たり配当金、ROE：親会社所有者帰属持分当期利益率、DOE：親会社所有者帰属持分配当率

・通期予想の修正箇所には下線を付しています。

<コメント>

<p>■売上収益</p> <p>■販売費及び一般管理費</p> <p>■研究開発費</p>	<ul style="list-style-type: none"> 抗がん剤「レンビマ」を中心としたグローバル4品の拡大による増加 米メルク社へ支払う「レンビマ」の折半利益 109億円（前年同期 31億円） アルツハイマー病疾患修飾剤「エレンベセスタット」、「BAN2401」および「レンビマ」などの開発テーマへの積極的な研究開発投資 パートナーシップモデルを活用した費用負担の抑制(自社主要品に関するパートナー負担額：180億円(前年同期 111億円))
<p>■その他の収益</p> <p>■為替による影響額</p> <p>■為替感応度 (1円の円高に対する年間影響額)</p>	<ul style="list-style-type: none"> エルメッド エーザイの譲渡益 44億円 売上収益：△24.0億円、営業利益：△11.1億円 売上収益：米ドル △11.6億円、ユーロ △3.1億円、英ポンド △0.6億円、人民元 △55.0億円 営業利益：米ドル +1.6億円、ユーロ △1.6億円、英ポンド+0.4億円、人民元 △32.4億円

2. セグメント情報

1) セグメント売上収益

(億円、%)

	2018年度		2019年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	為替影響除く 前期比
医薬品事業（報告セグメント）計	1,513	5,637	1,498	99.1	100.6
日本 医薬品事業	812	2,768	654	80.5	80.5
アメリカス 医薬品事業	217	979	296	136.4	135.5
米国	214	967	293	136.8	135.8
中国 医薬品事業	157	663	221	140.3	149.5
EMEA 医薬品事業	140	498	137	97.9	102.9
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	125	487	126	100.7	104.5
一般用医薬品等	61	243	65	105.8	105.8
その他事業	20	791	42	204.3	204.1
連結売上収益	1,533	6,428	1,540	100.5	102.0

* 外部顧客に対する売上収益を示しています。

2) セグメント利益

(億円、%)

	2018年度		2019年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	為替影響除く 前期比
医薬品事業（報告セグメント）計	627	2,105	668	106.5	108.8
日本 医薬品事業	361	1,002	277	76.7	76.7
アメリカス 医薬品事業	77	463	154	199.8	198.1
中国 医薬品事業	57	244	104	183.9	199.2
EMEA 医薬品事業	70	197	67	95.2	103.0
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	45	153	46	102.7	106.6
一般用医薬品等	16	45	19	114.6	114.6
その他事業	1	708	16	2121.3	2118.7
研究開発費	△341	△1,448	△294	86.2	87.3
親会社の本社管理費等*	△81	△504	△175	217.0	216.9
子会社株式売却益	—	—	44	—	—
連結営業利益	206	862	258	125.5	130.9

* パートナーとの戦略的提携に伴う利益および費用の折半金額を含めています。

3. 報告セグメント別情報

1) 日本 医薬品事業

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	812	2,768	654	80.5
医療用医薬品	745	2,516	654	87.7
ジェネリック医薬品	67	252	—	—
セグメント利益	361	1,002	277	76.7
日本 医療用医薬品 主力品売上収益				
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	122	469	130	106.5
疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症） リリカ	71	283	71	100.6
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	53	179	41	77.5
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	41	150	38	94.2
抗がん剤 レンビマ	19	100	34	178.8
プロトンポンプ阻害剤 バリエット*	36	129	33	89.7
不眠症治療剤 ルネスタ	29	112	33	113.8
抗がん剤 ハラヴェン	25	94	26	101.9
抗がん剤 トリアキシン	19	72	20	106.5
成分栄養剤 エレンタール*	17	64	17	103.3
抗リウマチ剤 ケアラム	10	44	15	152.2
抗てんかん剤 フィコンパ	7	30	10	136.8

- ・バリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキュアパック400/800」および「ラベファインバック」の売上収益を含めています。
- ・リリカの売上収益は共同販促収入です。
- ・2019年4月にジェネリック医薬品事業(エルメッド エーザイ)を譲渡しました。2018年度のジェネリック医薬品はエルメッドエーザイの売上収益です。
- * EAファーマの取り扱い製品です。

2) アメリカス 医薬品事業 (北米)

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	217	979	296	136.4 <135.5>
米国	214	967	293	136.8 <135.8>
セグメント利益	77	463	154	199.8 <198.1>
アメリカス 主力品売上収益				
抗がん剤 レンピマ	69	375	138	199.1 <197.6>
米国	69 (63)	372 (336)	137 (125)	199.8 <198.3>
(百万米ドル)				
抗てんかん剤 Banzel	40	175	68	168.4 <167.2>
米国	40 (37)	173 (156)	68 (61)	169.1 <167.8>
(百万米ドル)				
抗がん剤 ハラヴェン	40	164	37	90.7 <90.1>
米国	39 (36)	161 (145)	36 (32)	90.8 <90.1>
(百万米ドル)				
抗てんかん剤 Fycompa	21	93	30	140.4 <139.5>
米国	20 (19)	90 (81)	29 (26)	141.2 <140.2>
(百万米ドル)				
肥満症治療剤 Belvia	10	39	11	110.1 <109.2>
米国	10 (9)	39 (35)	11 (10)	110.1 <109.2>
(百万米ドル)				
プロトンポンプ阻害剤 アシフェックス	10	48	9	95.7 <95.0>
米国	10 (9)	48 (43)	9 (9)	95.7 <95.0>
(百万米ドル)				

・前期比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・Belvia、アシフェックスの上記売上収益は、全額が米国における売上収益です。

3) 中国 医薬品事業

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	157	663	221	140.3 <149.5>
セグメント利益	57	244	104	183.9 <199.2>
中国 主力品売上収益				
末梢性神経障害治療剤 メチコパール (百万人民元)	55 (321)	200 (1,208)	64 (398)	116.4 <124.0>
抗がん剤 レンビマ (百万人民元)	— —	31 (189)	35 (218)	— —
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト (百万人民元)	23 (132)	93 (565)	28 (173)	123.6 <131.6>
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強力ネオミノファーゲンシー／グリチロン錠 (百万人民元)	26 (151)	107 (649)	24 (149)	92.7 <98.8>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット (百万人民元)	15 (86)	57 (348)	18 (113)	122.3 <130.3>

・前期比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

4) EMEA 医薬品事業 (欧州、中東、アフリカ、オセアニア)

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	140	498	137	97.9 <102.9>
セグメント利益	70	197	67	95.2 <103.0>
EMEA 主力品売上収益				
抗がん剤 ハラヴェン	30	127	39	128.7 <135.2>
抗がん剤 レンビマ／Kispplx	19	80	30	159.0 <167.2>
抗てんかん剤 Fycompa	15	61	17	115.3 <121.4>
抗てんかん剤 Zebinix	14	58	16	113.4 <119.5>
抗てんかん剤 ソネグラン	10	41	10	100.6 <106.0>
抗てんかん剤 イノベロン	6	24	6	106.0 <111.8>

・前期比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5) アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	125	487	126	100.7 <104.5>
セグメント利益	45	153	46	102.7 <106.6>
アジア・ラテンアメリカ 主力品売上収益				
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	33	130	31	94.6 <100.5>
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	31	118	29	92.8 <97.8>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	10	39	12	129.9 <131.8>
抗がん剤 レンビマ	11	40	10	90.6 <92.8>
抗がん剤 ハラヴェン	7	27	8	121.3 <124.0>
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	9	32	7	79.2 <80.2>
抗てんかん剤 Fycompa	2	9	3	130.3 <135.1>

- ・前期比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。
- ・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

6) 一般用医薬品等 (日本)

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	61	243	65	105.8
セグメント利益	16	45	19	114.6
一般用医薬品等 主力品売上収益				
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	40	153	43	107.0

4. 主力品売上収益

1) ニューロロジー領域製品

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
ニューロロジー領域製品計	453	1,774	503	111.0 <113.1>
メチコパール (末梢性神経障害治療剤)	107	393	111	104.0 <108.0>
日本	41	150	38	94.2
中国	55	200	64	116.4 <124.0>
アジア・ラテンアメリカ	9	32	7	79.2 <80.2>
アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)	111	402	100	90.2 <93.3>
日本	53	179	41	77.5
中国	23	93	28	123.6 <131.6>
アジア・ラテンアメリカ	31	118	29	92.8 <97.8>
イノベロン/Banzel (抗てんかん剤)	48	204	76	159.3 <159.0>
アメリカス	40	175	68	168.4 <167.2>
EMEA	6	24	6	106.0 <111.8>
リリカ (疼痛治療剤 (神経障害性疼痛・線維筋痛症))・日本	71	283	71	100.6
フィコンパ/Fycompa (抗てんかん剤)	45	193	60	131.1 <132.9>
日本	7	30	10	136.8
アメリカス	21	93	30	140.4 <139.5>
EMEA	15	61	17	115.3 <121.4>
アジア・ラテンアメリカ	2	9	3	130.3 <135.1>
ルネスタ (不眠症治療剤)・日本	29	112	33	113.8
Belvia (肥満症治療剤)	10	56	18	183.2 <182.4>
米国	10	39	11	110.1 <109.2>
Zebinix (抗てんかん剤)・EMEA	14	58	16	113.4 <119.5>
ソネグラン (抗てんかん剤)	12	46	12	99.9 <105.2>
EMEA	10	41	10	100.6 <106.0>
その他	8	27	7	93.1

・前期比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

・リリカの売上収益は共同販促収入です。

2) オンコロジー領域製品

(億円、%)

	2018年度		2019年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
オンコロジー領域製品計	281	1,209	396	140.7 <142.8>
レンピマ/Kispalyx (抗がん剤)	119	626	248	208.8 <211.4>
日本	19	100	34	178.8
アメリカス	69	375	138	199.1 <197.6>
中国	—	31	35	—
EMEA	19	80	30	159.0 <167.2>
アジア・ラテンアメリカ	11	40	10	90.6 <92.8>
ハラヴェン (抗がん剤)	102	413	109	106.7 <108.6>
日本	25	94	26	101.9
アメリカス	40	164	37	90.7 <90.1>
EMEA	30	127	39	128.7 <135.2>
アジア・ラテンアメリカ	7	27	8	121.3 <124.0>
トリアキシン/シンベンダ (抗がん剤)	20	75	21	105.7 <106.0>
その他	40	96	18	44.5 <46.9>

・前期比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5. セグメント別売上収益見通し（2019年度）

（億円）

	2018年度		2019年度	
	1Q	通期	1Q	通期予想
日本	812	2,768	654	2,480
医療用医薬品	745	2,516	654	2,480
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	122	469	130	490
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	53	179	41	140
抗がん剤 レンビマ	19	100	34	130
不眠症治療剤 ルネスタ	29	112	33	130
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	41	150	38	130
プロトンポンプ阻害剤 パリエット*	36	129	33	110
抗がん剤 ハラヴェン	25	94	26	100
抗がん剤 トリアキシシン	19	72	20	82
抗リウマチ剤 ケアラム	10	44	15	70
成分栄養剤 エレンタール*	17	64	17	65
ジェネリック医薬品	67	252	—	—
アメリカス	217	979	296	1,350
米国	214	967	293	1,320
中国	157	663	221	700
EMEA	140	498	137	510
アジア・ラテンアメリカ	125	487	126	490
一般用医薬品等	61	243	65	240
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	40	153	43	160
その他	20	791	42	1,030
連結売上収益	1,533	6,428	1,540	6,800
主要品目グローバル売上収益				
レンビマ/Kispilyx	119	626	248	1,160
日本	19	100	34	130
アメリカス	69	375	138	780
中国	—	31	35	90
EMEA	19	80	30	120
アジア・ラテンアメリカ	11	40	10	40
ハラヴェン	102	413	109	430
日本	25	94	26	100
アメリカス	40	164	37	170
EMEA	30	127	39	130
アジア・ラテンアメリカ	7	27	8	30
フィコンパ/Fycompa	45	193	60	250
日本	7	30	10	50
アメリカス	21	93	30	120
EMEA	15	61	17	70
アジア・ラテンアメリカ	2	9	3	10
Belvia	10	56	18	50
アメリカス	10	39	11	50
アリセプト	111	402	100	350
パリエット/アシフェックス	71	277	73	240

・パリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせバック製剤「ラベキュアバック400/800」および「ラベファインバック」の売上収益を含めています。

・2019年4月にジェネリック医薬品事業(エルメッド エーザイ)を譲渡しました。2018年度のジェネリック医薬品はエルメッドエーザイの売上収益です。

* EAファーマの取り扱い製品です。

6. 連結包括利益計算書

	2018年度		2019年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	増減額
四半期（当期）利益	157	665	221	140.8	64
その他の包括利益					
損益に振り替えられることのない項目					
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	23	34	△ 25	—	△ 48
確定給付制度に係る再測定	—	△ 8	—	—	—
小計	23	26	△ 25	—	△ 48
損益にその後に振り替えられる可能性のある項目					
在外営業活動体の換算差額	92	104	△ 165	—	△ 257
キャッシュ・フロー・ヘッジ	0	0	0	26.3	△ 0
小計	92	104	△ 165	—	△ 258
その他の包括利益合計	116	130	△ 190	—	△ 306
四半期（当期）包括利益	272	795	31	11.3	△ 242
四半期（当期）包括利益の帰属					
親会社所有者	239	764	26	11.1	△ 212
非支配持分	34	31	4	12.5	△ 30

7. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2018年度	2019年度	
	1Q	1Q	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益	213	270	57
減価償却費及び償却費	69	83	14
減損損失	40	—	△ 40
運転資本の増減額 (△は増加)	△ 83	△ 281	△ 198
利息及び配当金の受取額	11	14	3
利息の支払額	△ 5	△ 1	3
法人所得税の支払額	△ 83	△ 70	13
その他	△ 38	△ 55	△ 17
営業活動によるキャッシュ・フロー	123	△ 41	△ 164
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 29	△ 45	△ 17
有形固定資産の売却による収入	0	8	8
無形資産の取得による支出	△ 27	△ 220	△ 193
子会社株式売却に係る前受金の受領額	34	—	△ 34
子会社の売却による収入	—	58	58
金融資産の取得による支出	△ 0	△ 7	△ 7
金融資産の売却・償還による収入	5	1	△ 4
小計<資本的支出等 (キャッシュベース) >	△ 16	△ 205	△ 188
3カ月超預金の預入による支出	△ 4	△ 0	4
3カ月超預金の払戻による収入	4	5	1
その他	0	△ 2	△ 2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 16	△ 201	△ 185
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額 (△は減少)	126	△ 90	△ 216
長期借入れによる収入	50	—	△ 50
リース負債の返済による支出	△ 3	△ 23	△ 20
配当金の支払額	△ 229	△ 229	△ 0
その他	2	△ 0	△ 2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 54	△ 342	△ 288
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	△ 80	△ 119
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	92	△ 664	△ 756
現金及び現金同等物の期首残高	2,705	2,919	214
現金及び現金同等物の期末残高	2,797	2,255	△ 542

フリー・キャッシュ・フロー	107	△ 245	△ 352
---------------	-----	-------	-------

・フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等 (キャッシュベース))

<コメント>

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
税引前四半期利益が増加した一方、製品売上の増加に伴う売掛金の増加、預り金(米メルク社からの研究開発償還金)の取崩しなどにより運転資本が増加
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
子会社の売却による収入が発生した一方、無形資産の取得などにより、資本的支出等が増加
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
短期借入金の返済。IFRS第16号「リース」の適用に伴い、リース負債の返済による支出を区分表示

8. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2018年度		2019年度		
	1Q	通期	1Q	増減額	通期予想
資本的支出額（キャッシュベース）	55	276	265	210	580
有形固定資産	29	182	45	17	180
無形資産	27	95	220	193	400
減価償却費及び償却費	69	268	83	14	340
有形固定資産	29	109	44	15	180
無形資産	40	159	39	△1	160

9. 連結財政状態計算書

<資産の部>

(億円、%)

	2018年度		6月末	2019年度		
	3月末	構成比		構成比	前期末比	増減額
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,052	9.8	1,380	13.5	131.2	329
のれん	1,722	16.1	1,671	16.3	97.1	△50
無形資産	981	9.2	1,138	11.1	115.9	156
その他の金融資産	530	4.9	501	4.9	94.5	△29
その他	127	1.2	125	1.2	98.2	△2
繰延税金資産	686	6.4	568	5.5	82.7	△119
非流動資産合計	5,098	47.6	5,383	52.5	105.6	285
流動資産						
棚卸資産	679	6.3	639	6.2	94.2	△39
営業債権及びその他の債権	1,566	14.6	1,686	16.4	107.6	119
その他の金融資産	75	0.7	69	0.7	90.9	△7
その他	168	1.6	199	1.9	118.3	31
現金及び現金同等物	2,864	26.7	2,255	22.0	78.7	△609
小計	5,353	50.0	4,847	47.2	90.6	△506
売却目的で保有する資産	264	2.5	32	0.3	12.0	△232
流動資産合計	5,617	52.4	4,879	47.5	86.9	△738
資産合計	10,715	100.0	10,262	100.0	95.8	△453

<コメント>

<p>■資産の部</p> <p>（有形固定資産）</p> <p>（無形資産）</p> <p>（繰延税金資産）</p> <p>（営業債権及びその他の債権）</p> <p>（現金及び現金同等物）</p> <p>（売却目的で保有する資産）</p>	<p>IFRS第16号「リース」の適用によるリース負債の認識に伴い、使用权資産が増加</p> <p>オレキシン受容体拮抗剤 レンボレキサントに関するパートナーの権利を取得</p> <p>IFRIC第23号「法人所得税の税務処理に関する不確実性」の適用により、一部の繰延税金資産とその他の固定負債を相殺表示</p> <p>主に製品売上の増加に伴う売掛金の増加</p> <p>短期借入金の返済、営業債務およびその他の債務の減少、無形資産の取得などに伴う減少</p> <p>エルメッド エーザイ譲渡による減少</p>
--	---

<資本及び負債の部>

(億円、%)

	2018年度		2019年度			
	3月末	構成比	6月末	構成比	前期末比	増減額
資本						
親会社の所有者に帰属する持分						
資本金	450	4.2	450	4.4	100.0	—
資本剰余金	776	7.2	776	7.6	100.0	△ 0
自己株式	△ 347	△ 3.2	△ 347	△ 3.4	100.0	0
利益剰余金	4,385	40.9	4,348	42.4	99.1	△ 37
その他の資本の構成要素	1,017	9.5	852	8.3	83.8	△ 165
親会社の所有者に帰属する持分合計	6,281	58.6	6,078	59.2	96.8	△ 203
非支配持分	239	2.2	243	2.4	101.8	4
資本合計	6,520	60.8	6,321	61.6	97.0	△ 199
負債						
非流動負債						
借入金	899	8.4	899	8.8	100.0	0
その他の金融負債	45	0.4	347	3.4	772.0	302
引当金	13	0.1	14	0.1	102.1	0
その他	278	2.6	125	1.2	45.1	△ 153
繰延税金負債	3	0.0	2	0.0	56.4	△ 1
非流動負債合計	1,238	11.6	1,386	13.5	112.0	148
流動負債						
借入金	490	4.6	400	3.9	81.6	△ 90
営業債務及びその他の債務	775	7.2	583	5.7	75.2	△ 192
その他の金融負債	416	3.9	436	4.2	104.6	19
未払法人所得税	82	0.8	87	0.8	106.0	5
引当金	179	1.7	173	1.7	96.7	△ 6
その他	911	8.5	876	8.5	96.1	△ 35
流動負債合計	2,853	26.6	2,554	24.9	89.5	△ 299
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	104	1.0	—	—	—	△ 104
負債合計	4,195	39.2	3,941	38.4	93.9	△ 255
資本及び負債合計	10,715	100.0	10,262	100.0	95.8	△ 453

<コメント>

■資本の部 (その他の資本の構成要素)	円高による為替換算差額の減少
■負債の部 (その他の金融負債—非流動) (その他—非流動)	IFRS第16号「リース」の適用により、リース負債が増加 IFRIC第23号「法人所得税の税務処理に関する不確実性」の適用により、一部の繰延税金資産とその他の固定負債を相殺表示
(借入金—流動)	短期借入金の返済
(営業債務及びその他の債務)	主に未払金の減少
(売却目的で保有する資産に直接関連する負債)	エルメッド エーザイ譲渡による減少

10. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

(億円)

	2018年度				2019年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上収益	1,533	1,568	1,571	1,756	1,540
売上原価	480	440	497	428	429
売上総利益	1,053	1,128	1,074	1,328	1,111
販売費及び一般管理費	506	542	634	601	600
販売費	173	197	242	231	247
人件費	199	212	260	200	211
管理費他	134	133	131	169	142
研究開発費	341	309	365	433	294
その他の収益	1	9	14	2	48
その他の費用	1	9	2	6	7
営業利益	206	278	87	290	258
金融収益	12	11	14	12	14
金融費用	5	5	3	2	3
税引前四半期利益	213	284	98	300	270
法人所得税	56	77	24	72	49
四半期利益	157	206	74	227	221
四半期利益の帰属					
親会社所有者	123	203	73	234	217
非支配持分	34	3	1	△7	4
四半期包括利益	272	341	△94	275	31
EPS (円)	43.0	71.1	25.6	81.7	75.6

・EPS：基本的1株当たり四半期利益

2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2018年度				2019年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	123	376	106	432	△41
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16	△28	75	△110	△201
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54	△291	△536	90	△342
現金及び現金同等物の期末残高	2,797	2,918	2,486	2,919	2,255
フリー・キャッシュ・フロー	107	347	75	321	△245

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

3) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2018年度				2019年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
資本的支出額（キャッシュベース）	55	31	60	130	265
有形固定資産	29	18	25	110	45
無形資産	27	13	35	20	220
減価償却費及び償却費	69	68	64	67	83
有形固定資産	29	28	24	27	44
無形資産	40	40	40	40	39

4) 財政状態計算書項目

(億円)

	2018年度				2019年度
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
資産	10,666	10,802	10,260	10,715	10,262
資本	6,194	6,537	6,243	6,520	6,321
親会社の所有者に帰属する持分	5,952	6,291	5,997	6,281	6,078
負債	4,472	4,265	4,017	4,195	3,941
借入金	1,920	1,639	1,299	1,389	1,299
親会社所有者帰属持分比率（%）	55.8	58.2	58.5	58.6	59.2
負債比率（Net DER/倍）	△0.25	△0.31	△0.28	△0.32	△0.24

・負債比率（Net DER）＝（有利子負債（借入金）－現金及び現金同等物－3カ月超預金等－親会社保有投資有価証券）÷親会社の所有者に帰属する持分

5) 主力品売上収益の四半期推移

(1) ニューロロジー領域製品

(億円)

	2018年度				2019年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
ニューロロジー領域製品計	453	436	477	408	503
メチコパール（末梢性神経障害治療剤）	107	99	99	88	111
日本	41	37	42	30	38
中国	55	49	48	48	64
アジア・ラテンアメリカ	9	10	7	7	7
アリセプト（アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤）	111	103	107	82	100
日本	53	44	50	32	41
中国	23	26	23	22	28
アジア・ラテンアメリカ	31	30	31	27	29
イノベロン/Banzel（抗てんかん剤）	48	51	55	50	76
アメリカス	40	44	46	43	68
EMEA	6	6	7	6	6
リリカ（疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症））・日本	71	67	78	67	71
フィコンパ/Fycompa（抗てんかん剤）	45	47	51	49	60
日本	7	7	9	7	10
アメリカス	21	23	24	24	30
EMEA	15	14	16	16	17
アジア・ラテンアメリカ	2	2	2	2	3
ルネスタ（不眠症治療剤）・日本	29	27	33	24	33
Belvia（肥満症治療剤）	10	11	20	16	18
米国	10	9	10	10	11
Zebinix（抗てんかん剤）・EMEA	14	14	16	14	16
ソネグラン（抗てんかん剤）	12	11	12	12	12
EMEA	10	10	11	10	10
その他	8	7	7	5	7

・リリカの売上収益は共同販促収入です。

・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

(2) オンコロジー領域製品

(億円)

	2018年度				2019年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
オンコロジー領域製品計	281	266	339	323	396
レンビマ/Kisplyx（抗がん剤）	119	126	189	192	248
日本	19	24	31	25	34
アメリカス	69	75	109	122	138
中国	—	—	17	15	35
EMEA	19	18	20	23	30
アジア・ラテンアメリカ	11	9	12	8	10
ハラヴェン（抗がん剤）	102	102	109	100	109
日本	25	24	26	19	26
アメリカス	40	41	43	40	37
EMEA	30	31	33	33	39
アジア・ラテンアメリカ	7	6	7	8	8
トリアキシン/シンベンダ（抗がん剤）	20	18	22	15	21
その他	40	20	19	16	18

11. 主要開発品

(1) 神経

開発品コード：E2007 一般名：ペランパネル 製品名：フィコンパ/Fycompa

薬効/作用機序：抗てんかん剤/AMPA受容体拮抗剤		自社品	
[概要] グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。部分てんかんの併用療法に対して日本、米国、欧州、アジアなど、60カ国以上で承認を取得しています。また、米国では、4歳以上のてんかん患者様の部分発作（二次性全般化発作を含む）に対する単剤療法および併用療法での承認を取得しています。全般てんかんの強直間代発作の併用療法の適応についても、日本、米国、欧州、アジアなど、55カ国以上で承認を取得しています。米国、欧州では、経口懸濁液の承認を取得し、販売しています。			
てんかん小児適応（用法追加）	311試験	日本 申請（2019年1月） 欧州 申請（2019年2月）	経口剤
部分てんかん併用療法	335試験	中国 申請（2018年10月受理）	経口剤
部分てんかん単剤療法（効能追加）	342試験	日本 申請（2019年1月）	経口剤
細粒剤（剤形追加）	—	日本 申請（2019年1月）	経口剤
レノックス・ガストー症候群（効能追加）	338試験	日米欧 PⅢ	経口剤

開発品コード：E2006 一般名：レンボレキサント

薬効/作用機序：オレキシン受容体拮抗剤		自社品	
[概要] 睡眠と覚醒の調整に關与するオレキシンの受容体に拮抗することで、覚醒状態を鎮め、自然な睡眠の誘発・維持を期待しています。			
不眠障害	303/304試験	米国 申請（2018年12月） 日本 申請（2019年3月）	経口剤
アルツハイマー病/認知症に伴う不規則睡眠 覚醒リズム障害	202試験	日米 PⅡ	経口剤

開発品コード：E2609 一般名：エレンベセスタット

薬効/作用機序：アルツハイマー病疾患修飾剤/ β サイト切断酵素（BACE）阻害剤		自社品	
[概要] アミロイド前駆体タンパク質の β サイト切断酵素であるBACEを阻害することで、アミロイド β の総量を低下させ、アルツハイマー病の進行を抑制することを期待しています。			
早期アルツハイマー病	301/302試験 (MISSION AD1/2)	日米欧中 PⅢ	Biogen Inc.と共同開発 経口剤

開発品コード：BAN2401

薬効/作用機序：アルツハイマー病疾患修飾剤/抗 $A\beta$ プロトフィブリル抗体		導入品（BioArctic AB）	
[概要] アミロイド β （ $A\beta$ ）プロトフィブリルに対するIgG1抗体です。神経毒性を呈することが報告されている $A\beta$ プロトフィブリルを除去することで、アルツハイマー病の進行を抑制することを期待しています。			
早期アルツハイマー病	301試験 (Clarity AD)	日米欧中 PⅢ	Biogen Inc.と共同開発 注射剤

開発品コード：ME2125 一般名：サフィナミド

薬効/作用機序：パーキンソン病治療剤/モノアミン酸化酵素B阻害剤		導入品（Meiji Seikaファルマ）	
[概要] 選択的なモノアミン酸化酵素B（MAO-B）阻害作用により、分泌されたドパミンの分解を抑制してドパミンの脳内濃度維持を助けます。また、ナトリウムイオンチャンネル阻害作用を介したグルタミン酸放出抑制作用を有することから、ドパミン作動性作用と非ドパミン作動性作用を併せ持つ、新たなパーキンソン病治療薬となることを期待しています。			
パーキンソン病	—	日本 申請（2018年10月） ◎ 韓国 申請（2019年7月）	経口剤

開発品コード：E2027

薬効／作用機序：レビー小体型認知症治療剤／ホスホジエステラーゼ（PDE）9阻害剤		自社品
[概要] 選択的なホスホジエステラーゼ（PDE）9阻害作用により、細胞内のシグナル伝達に重要なサイクリックGMP（cGMP）の分解を抑制し、cGMPの脳内濃度を維持することにより、レビー小体型認知症に対する新たな治療薬になることを期待しています。		
レビー小体型認知症	201試験 (DELPHIA)	日米欧 P II / III 経口剤

開発品コード：E2730

薬効／作用機序：抗てんかん剤・神経疾患治療剤／シナプス機能モジュレーター		自社品
[概要] 活性化状態にあるシナプス機能を選択的に調整する新規作用機序を持つ化合物です。希少てんかんを含むてんかんや、てんかん原性等に対する新たな神経疾患治療薬になることを期待しています。		
てんかん	201試験	米国 P II 経口剤

開発品コード：E2082

薬効／作用機序：抗てんかん剤・神経疾患治療剤／AMPA受容体拮抗剤		自社品
[概要] グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の作用を阻害する次世代AMPA受容体拮抗剤です。てんかんを含む新たな神経疾患治療薬、特に、てんかん原性等に対する治療薬になることを期待しています。		
てんかん	201試験 —	米国 P II 日本 P I 経口剤

- ・ E2082に関する全ての臨床試験（日本、米国）を中断しています。

(2) がん

開発品コード：E7080 一般名：レンパチニブ 製品名：レンビマ/Kisplyx

薬効／作用機序：抗がん剤／キナーゼ阻害剤			自社品		
<p>[概要] 血管内皮増殖因子受容体 (VEGFR) や線維芽細胞増殖因子受容体 (FGFR) に加え、血小板由来増殖因子受容体 (PDGFR)、KIT、RETなどの腫瘍血管新生あるいは腫瘍悪性化に關与する受容体型チロシンキナーゼ (RTK) に対する選択的阻害活性を有する経口投与可能な、自社創出の新規結合型チロシンキナーゼ阻害剤です。甲状腺がんに係る適応で、日本、米国、欧州、アジアなど55カ国以上で承認を取得しています。また腎細胞がん (セカンドライン) のエベロリムスとの併用療法に係る適応で、米国、欧州など50カ国以上で承認を取得しています。なお、欧州における腎細胞がんに係る適応については、製品名Kisplyxを使用しています。さらに、肝細胞がん (ファーストライン) に係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなど50カ国以上において承認を取得しています。</p>					
甲状腺がん (効能追加)	308試験	中国 PⅢ	Merck & Co., Inc., Kenilworth, NJ, USA	経口剤	(米メルク社)と共同開発
腎細胞がん・ファーストライン (効能追加) (抗がん剤エベロリムスまたは抗PD-1抗体ペム プロリスマブとの併用療法)	307試験	日米欧 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤	
子宮内膜がん・セカンドライン (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	309試験	日米欧 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤	
肝細胞がん・ファーストライン (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-002 試験	日米欧中 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤	
メラノーマ・ファーストライン (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-003 試験	米欧中 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤	
非扁平上皮非小細胞肺がん・ファーストライン (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-006 試験	日米欧中 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤	
PD-L1陽性の非小細胞肺がん・ファーストライン (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-007 試験	日米欧中 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤	
◎ 子宮内膜がん・ファーストライン (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-001 試験	日米欧中 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤	
◎ 非小細胞肺がん・セカンドライン (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-008 試験	日米欧 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤	
◎ 膀胱がん (シスプラチン不適格)・ファーストライン (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-011 試験	日米欧 PⅢ	米メルク社と共同開発	経口剤	
非小細胞肺がん (RET転座) (効能追加)	209試験	日米欧ア PⅡ	米メルク社と共同開発	経口剤	
胆道がん (効能追加)	215試験	日本 PⅡ	米メルク社と共同開発	経口剤	
固形がん (子宮内膜がん、腎細胞がん、頭頸部がん、 尿路上皮がん、非小細胞肺がん、メラノーマ) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	111試験 —	米欧 PⅠ/Ⅱ 日本 PⅠ	米メルク社と共同開発	経口剤	
メラノーマ・セカンドライン (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-004 試験	米欧 PⅡ	米メルク社と共同開発	経口剤	
固形がん (トリプルネガティブ乳がん、卵巣がん、 胃がん、大腸がん、膠芽腫、胆道がん) (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	LEAP-005 試験	米欧 PⅡ	米メルク社と共同開発	経口剤	
肝細胞がん (抗PD-1抗体ペムプロリスマブとの併用療法)	—	日米 PⅠ	米メルク社と共同開発	経口剤	
肝細胞がん (抗PD-1抗体ニボルマブとの併用療法)	—	日本 PⅠ	小野薬品と共同開発	経口剤	

開発品コード：**E7389** 一般名：**エリブリン** 製品名：**ハラヴェン**

薬効／作用機序：抗がん剤／微小管ダイナミクス阻害剤				自社品
[概要] クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。日本、米国、欧州、アジアなど、70カ国以上で乳がんに係る承認を取得しています。また、日本、米国、欧州、アジアなど、60カ国以上において脂肪肉腫（日本では悪性軟部腫瘍）に係る適応追加の承認を取得しています。				
◎ 乳がん	304試験	中国	承認（2019年7月）	注射剤
膀胱がん（効能追加）	702試験	米欧	PI/II	注射剤
トリプルネガティブ乳がん （抗PD-1抗体ペムブロリズマブとの併用療法）	218試験	米国	PI/II	米メルク社と共同開発 注射剤
HER2陰性乳がん（PEGPH20との併用療法）	219試験	米国	PI/II	Halozymeと共同開発 注射剤
リボソーム製剤（剤形追加）	—	日欧	PI	注射剤
◎ リボソーム製剤（剤形追加） （抗PD-1抗体ニボルマブとの併用療法）	—	日本	PI/II	小野薬品との共同開発 注射剤

開発品コード：**MORAb-003** 一般名：**ファルレッツマブ**

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗葉酸受容体 α モノクローナル抗体				自社品
[概要] 葉酸受容体 α （FRA）に対するヒト化IgG1抗体です。FRAが過剰発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。				
ブラチナ感受性卵巣がん	O11試験	日米欧	PII	注射剤

開発品コード：**MORAb-004**

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗エンドシアリンモノクローナル抗体				自社品
[概要] Tumor endothelial marker 1（TEM-1）／エンドシアリンに対するヒト化IgG1抗体です。エンドシアリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。				
メラノーマ	201試験	米欧	PII	注射剤

開発品コード：**MORAb-009** 一般名：**amatuximab**

薬効／作用機序：抗がん剤／キメラ型抗メソセリンモノクローナル抗体				自社品
[概要] メソセリンに対するキメラ型IgG1抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。				
中皮腫	003/201試験	米欧	PII	注射剤

開発品コード：**E7777**

薬効／作用機序：抗がん剤／インターロイキン2受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤				自社品
[概要] インターロイキン2（IL-2）の受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤であり、細胞表面上のIL-2受容体と特異的に結合し、細胞内に移行したジフテリア毒素がタンパク質合成を阻害します。				
末梢性T細胞リンパ腫、皮膚T細胞性リンパ腫	205試験	日本	PII	注射剤

開発品コード：**E7438** 一般名：**タゼメトスタット**

薬効／作用機序：抗がん剤／EZH2阻害剤				導入品（Epizyme）
[概要] ヒストンメチル基転移酵素を構成するたんぱく質の一つであるEZH2は、エピジェネティック関連酵素として、発がんプロセスにおいて重要な役割を担っていると考えられています。E7438は、Epizyme社が独自の創薬プラットフォームから創製した、ファーストインクラスの経口投与可能な低分子化合物であり、EZH2の阻害を介した抗腫瘍効果が期待されています。エーザイは本剤の日本における開発・商業化権とアジア地域における優先交渉権を保有しています。				
B細胞性非ホジキンリンパ腫	206試験	日本	PII	経口剤

開発品コード：H3B-6545

薬効／作用機序：抗がん剤／ER α 阻害剤			自社品
[概要] 経口投与可能な選択的エストロゲン受容体 α (ER α) 共有結合型アンタゴニストであり、野生型および変異型 ER α をともに阻害します。エストロゲン受容体陽性／HER2 受容体陰性の乳がんに対する抗腫瘍効果を期待しています。			
乳がん	101試験	米欧 P I / II	経口剤

開発品コード：E7090

			自社品
固形がん	—	日本 P I	経口剤

開発品コード：H3B-6527

			自社品
肝細胞がん	—	米欧 P I	経口剤

開発品コード：H3B-8800

			自社品
血液がん	—	米欧 P I	経口剤

開発品コード：E7386

			共同創出品 (PRISM Pharma)
固形がん	—	日欧 P I	経口剤
◎ 固形がん (レンビマとの併用療法)	—	日本 P I	経口剤

開発品コード：MORAb-202

			自社品
固形がん	—	日本 P I	注射剤

開発品コード：E7130

			共同創出品 (ハーバード大学)
固形がん	—	日本 P I	注射剤

(3) 消化器

開発品コード：AJM300 一般名：カロテグラストメチル

薬効／作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤／ α 4インテグリン阻害剤			自社品	
[概要] α 4インテグリンを阻害することにより、リンパ球の接着・浸潤を防ぐ新規作用機序を有します。経口 α 4インテグリン阻害剤として世界ではじめての製品化をめざしています。				
潰瘍性大腸炎	—	日本 PⅢ	EAファーマとキッセイ薬品の共同開発	経口剤

開発品コード：E6007

薬効／作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤／インテグリン活性化阻害剤			自社品	
[概要] インテグリン活性化阻害による白血球全般の接着・浸潤を抑制する新規作用機序を有する化合物です。科学技術振興機構の産学共同実用化開発事業として、EAファーマが筑波大学と共同で製品化をめざしています。				
潰瘍性大腸炎	201試験	日本 PⅡ	EAファーマが開発	経口剤

開発品コード：E3112

			自社品	
肝臓疾患	—	日本 PⅠ	EAファーマが開発	注射剤

(4) その他

開発品コード：E6011

薬効／作用機序：抗フラクタルカイン抗体			自社品	
[概要] エーザイグループのカン研究所において創製された、世界初のヒト化抗フラクタルカインモノクローナル抗体です。関節リウマチや炎症性腸疾患をはじめとする炎症性疾患の血管内皮細胞に発現し、炎症反応を惹起するフラクタルカインを中和することによる抗炎症作用を期待しています。				
関節リウマチ	201/202試験	日本 PⅡ		注射剤
クローン病	ET2試験	日欧 PⅡ	EAファーマが開発	注射剤

開発品コード：E6742

			自社品	
自己免疫疾患	—	米国 PⅠ		経口剤